

第10回 福岡空港調査P I有識者委員会

議 事 要 旨

【開催日時】平成21年1月19日(月)15:00~17:00

【開催場所】福岡市役所「15階(講堂)」

【出席者】

(1) 委員 (委員長) 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授	石田 東生
ジャーナリスト	杉尾 政博
神戸大学大学院工学研究科准教授	竹林 幹雄
公認会計士	藤田 和子
弁護士	山本 智子

(2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	梶原 康之
国土交通省大阪航空局空港部長	傍士 清志
福岡県企画・地域振興部理事兼空港対策局長	金子 英幸
福岡市総務企画局理事	松本 友行

【議事要旨】

福岡空港の総合的な調査に係るP I (ステップ4)の実施結果に関する審議が行われ、下記のとおり、評価及び助言が行われた。

1 評価

P I活動の実施については、P I実施計画(ステップ4)に則って、適正な時間管理のもと中立・公正に、十分な周知広報の実施、多様で適切なP I手法の選定、わかりやすい情報の提供、及び収集した意見とそれに対する考え方を公表したものと認められることから、適切なものであったと評価します。

また、情報が市民等に十分に周知され、市民等から幅広く意見が収集されたと考えられるため、P I (ステップ4)の当初の目標は達成されたと評価します。

2 助言等

1) P I (ステップ4)実施報告書(案)について

・寄せられたご意見について、とりまとめ方法の例示及びその傾向に関する分類結果の適切な表記を行うこと

2) 今後の取り組みに対して

・情報が市民等に十分に周知されたことは認められるが、そこからもう一步踏み込んだ、市民相互間での情報の共有や意見交換が促進されるP I手法の充実と継続的な取り組みに努める

こと

- ・ 専門的な知識が求められる事柄については、今後とも市民等の理解を高めるための工夫に努めること
 - ・ 海外からの利用者等も含め、今後も幅広い意見収集に努めること
- 以上について、構想段階以降に P I を実施する場合に留意すること